



第18回高梁市消防操法大会を開催

3月10日に第18回高梁市消防操法大会(高梁市消防団主催)が開催され、小型ポンプ操法の部に9チームが出場し、選手は日ごろの練習の成果を十分に発揮しました。大会では巨瀬分団が優勝し、高梁市代表として7月7日(日)に岡山県消防学校で行われる第70回岡山県消防操法大会に昨年4連覇した宇治吹屋分団とともに出場します。



巨瀬分団の皆さん

また、同大会に先立ち令和5年度消防庁長官表彰並びに日本消防協会定例表彰を受賞されました皆さまは次のとおりです。

令和5年度消防功労者消防庁長官表彰者

功労章
西右介(団本部)

永年勤続功労章
山口教久(団本部)、津野邊和彦(高梁)、平松修一(落合)、池田哲(川上)

令和5年度優良消防団員定例表彰財団法人日本消防協会長表彰者功績章
松尾志郎(団本部)

精績章
山口教久(団本部)、赤木直樹(落合)、河上雅徳(成羽)

勤続章
藤森祥司(巨瀬)、熊本全秀(中井)、野田昌宏(有漢)、池田哲(川上)、大石丈司(高倉)、河原知之(有漢)、山縣忠義(有漢)、藤井英樹(成羽)、武田敏郎(川上)、

協力隊がゆく

こんにちは。空き家活用・移住定住担当の矢動丸です。

この度、私は3月をもって任期満了にて協力隊を卒業となりました。この3年間は、たくさんのご縁に恵まれてお仕事をさせていただくことができました。

1つ目のご縁は高梁市へ移住できたことです。元々、移住などは考えていなかった中、前職からの転職を検討する頃に知人からの紹介で高梁市とのご縁がつながることになりました。

2つ目のご縁は活動中にお世話になった皆様とのご縁です。城下町エリア本町の元駄菓子屋さん「守内商店」の再生から始まった私の活動でしたが、その後、市内各地域を回っていく毎にたくさんの方にお声がけいただき、活動の幅を広げることができました。空き家・空き店舗の活用や移住者の受け入れに関する相談をいただいたり、関係人口に関する事業に携わったり、イベントのお手伝い



矢動丸 祐子 隊員

に行かせていただいたり、小中高校の授業や学校運営に関わらせていただいたりなど、協力隊活動が始まった頃には想像もつかなかったことを沢山経験させていただきました。そして、高梁へ来た時よりもっともっと高梁が好きになっていく自分がありました。3年間お世話になった皆さん、活動にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

私は今後も高梁へ住み続け、この3年間で積み上げてきた活動の延長線上でさらに幅も深さも広げながら活動していく予定です。手がけてきた空き家・空き店舗再生の「守内商店」や「ニューエスカ」の運営、移住定住の事業や地域おこし協力隊のサポートに関するウェブマーケティングや教育・子育てに関することを掛け合わせながら活動していきます。今後も、一市民として、どうぞよろしく願っています。

大福康司(川上)、今西俊文(成羽自)、石田雄一(川上)、川上敦宏(川上)、赤迫和之(備中)、石村勝利(高梁)、西川英治(高梁)、大平訓弘(高倉)、田中博(成羽)

『忘れていませんか? 住宅用火災警報器の点検・交換』

設置から10年以上経過している場合は、本体内部の電子部品が劣化して火災を検知しなくなることがありますので、機器本体を取り換えましょう。



令和6年度資格取得講習・試験の日程

防火管理者や危険物取扱者に必要な資格を取得するための講習会と試験が下記の日程で実施されます。詳しくは、消防本部ウェブサイトを覗いていただくか、お問い合わせください。



3月の火災・救急件数
火災 1件(前月と同件数)
救急 126件(前月より21件減)
消防本部予防課 ☎21・0121

試験・講習	開催日	受付期間	場所
危険物取扱者試験(甲種・乙種・丙種)	6月23日(日)	4月15日(月)~25日(木) (書面・電子ともに)	岡山市・倉敷市・津山市
	10月27日(日)	8月26日(月)~9月5日(木) (書面・電子ともに)	岡山市・倉敷市・津山市
	令和7年 2月9日(日)	12月9日(月)~19日(木) (書面・電子ともに)	岡山市
危険物取扱者試験事前講習会	5月23日(木)	4月8日(月)~26日(金)	高梁総合文化会館
危険物取扱者保安講習会	9月27日(金)	7月1日(月)~26日(金)	高梁総合文化会館

成羽病院通信

成羽病院 ☎42-3111

大腸カメラのすすめ

現在、日本人の死亡原因の1位はがんです。その中でも大腸がんで亡くなる方が多くを占めており、2021年の統計では男性で2位、女性で1位でした。

大腸がんは早期に治療を行えば完治が期待できるがんであるため、大腸カメラ検査で早期発見することがとても重要です。

大腸にできる「いぼ」のような隆起した病変を大腸ポリープといい、大きさや種類は様々ですが、一般的に腫瘍性の腺腫という良性ポリープが数年を掛けて徐々に大きくなり、大腸がんに移行していきます。これが大腸がん発生の約90%を占めるとされ、大腸ポリープを早期に切除することも重要とされています。

従来の内視鏡治療では高周波装置で電流を流しながらポリープを切除してました。この方法では、稀ではありますが、ポリープを切除した傷口から後々になって出血をしたり、腸の壁に穴が空いたりする合併症が懸念されています。

なお、現在ポリープの治療法として、合併症頻度の少ない「コールドスネアポリープ切除法」として、専用の細い輪状ワイヤーでポリープの根元を占めながら切除する治療が主に行われています。約1cm未満のポリープでは、このコールドスネアポリープ切除法により安全にポリープ切除ができ、当院でも入院せず日帰りで行うことが可能です。

大腸がん検診での便潜血検査で陽性となった方や、50歳以上一度も大腸カメラを受けたことのない方は、これを機に、ぜひ大腸カメラを受けられることをおすすめします。

内科 三浦 征 医師